

みなとびあボランティアレター 第26号

発行者：新潟市歴史博物館 みなとびあ／2015年3月発行

11/12 研修旅行 情緒あふれる蔵のまち…秋の喜多方へ！



イチヨウが色づく秋、福島の喜多方へ行ってきました。
喜多方といえばラーメンが有名ですが、文化財が多く残り、
蔵が建ち並ぶ歴史深い土地という一面を知ることのできた旅でした。

平安時代の勧請という新宮熊野神社の広大な拝殿「長床（ながとこ）」【写真上】や、鎌倉時代創建の願成寺に安置された会津大仏は、重要文化財に指定されています。

私たち一行に付き添って、これらの解説をしてくださったのが市民ガイドである「蔵のまちガイド」さんです。手持ちパネルを使った説明や、自然な語り口、新潟と喜多方の関係など、内容はもちろん、ガイド方法もとても参考になるものでした。

また、幹事さんイチオシの旅館「おさらぎの宿」での昼食【写真右】は、自身の趣味を貫くご主人の案内つきで、さまざまなガイドの形を目の当たりにできました。

幹事の荒木信夫さん、若杉明さん、ありがとうございました。



日々の活動 敷地・常設編

敷地・常設・体験と3つの活動種類があるみなとぴあのボランティア。

今回はその中で、主に敷地内の建造物などをガイドする敷地ボランティアと、本館2階常設展示室をガイドする常設ボランティアで活動されている方々の声をお届けします。みなさん2014年度から活動を始めたボランティアさんたちです。



敷地にて小学生にガイド、奥に見えるのは石庫

昨年4月末よりドキドキのガイドをさせていただきました。5月～7月のあいだは大人相手のガイドが多く、9月～12月は小学校相手のガイドが多くなりました。

はじめの頃はつい熱が入ってしまい時間オーバー、敷地の説明ができないことも多かったですが、後半小学生相手にコンパクトに出来るようになりました。

客層の違いによって、どう話を展開していくかが今後の課題です。

〔斉藤結花さん〕

常設展示室には、小学生や寿大学、市政教室、歴史マニア等広範囲に渡る方々が訪れます。また、ガイド時間も15分位から1時間を越す場合もあります。

私達は、展示室を訪れる方々の要望に合わせてガイドするコースと内容を決定しています。ガイドでは各時代に生きた人々の生き様や文化、出来事等を理解していただけるよう心がけています。

見学者の「笑顔」と「有難う」、「よく理解できた」の一言が疲れを忘れさせてくれます。

〔田中隆さん〕



常設展示室にて



ガイドについて旧税関庁舎へ入っていく小学生たち

みなとぴあの桜が満開の日、ときわ丸を見ようと川岸に立つと、川上から黄色のネッカチーフをした一団が遣って来た。「岩室歩く会」の皆様で、税関前の桜の下で昼食との事。図々しいとは思ったが正直に私の力量を伝え、ガイドをさせて下さいとお願いした。20分程だったが税関や信濃川旧河道の話は面白かったと言って頂き、それが私の初ガイドとなった。

〔相馬とし子さん〕



質問を交えながらガイド
元気な回答の音があがる

私はまだ、小学生の皆さんへの常設ガイドの経験しかありません。小学生の皆さんへのガイドは、短時間でハードルが低いように感じ挑戦しましたが、話を聞いてもらうためには大人も子供も同じで、豊富な知識が必要なのだと回を重ねるごとに実感しています。

これから自信を持ってボランティアを続けていくためには、まだまだ「長い道のりだなあ」と思っています。
〔伊与部陽子さん〕

1年間のフリーの案内ガイドの活動体験事例を2つ挙げさせていただきます。

まず、新潟市内の女子高校1年生とお父さんです。父親より、「娘は歴史に大変興味あり、将来は歴史の分野に進みたいとの希望があります」とのお話がありました。その女子高校生は、最初から最後まで、目をランランと輝かせていました。

もう一つは、県外の2組の60歳代のご夫婦のことです。それは、開港5港の歴史旅行と北前船の主な寄港地への旅行でした。来館者より、旅行の仕方を学びました。
〔野沢俊明さん〕



春は敷地ガイドには嬉しい季節

現在「敷地・常設クイズラリー」企画準備中です！

敷地や常設のガイドは、実際お客様相手に一通りお話しするには、なかなか勇気と根性があるものです。とくに見学予約時に依頼のあるガイドの対応ではなく、自由に観覧されているお客様の助けとなるよう、自分から声をおかけして解説するフリーガイドは、多くの方が躊躇されているようです。

ガイドに一步踏み出すきっかけや練習となるよう、ボランティアさんの提案で「敷地・常設クイズラリー」が企画されています。これは、一方的な解説ではなく、各ポイントにボランティアが待機し、お客様に「クイズに答える」ことで参加していただきながら、クイズのヒントとなる部分解説をしていくものです。

何より、クイズラリーの準備、何のクイズにするかなど、その話し合い自体がガイドに役立ちそうだと、出席されているボランティアさんたちには好評です。どうしたらお客様に喜んでもらえるガイドができるのか、心を砕いてくださるみなさんの姿に頼もしさを感じます。



↑クイズラリーで
使用予定のスタンプ。
ほかにも多種用意中。

1/25 新年会

新しい年が明け、最初の顔合わせの場となった新年会は、当館の副館長や課長も同席し、23名でにぎやかな宴席となりました。

ボランティアさんが記録していた学芸員の解説を書物として形にする企画や、敷地内にある歴史的建造物「石庫（いしぐら）」に入りたいという意見、関屋周辺を訪ね歩くという研修プラン、収蔵品を対象とした写生会の提案など、みなさんの抱負やご要望を直に聞くことのできたよい機会となりました。

石庫は、現在博物館資料を収蔵していますが、毎年行っている体験プログラムのバックヤードツアーでも入らない場所です。現在ボランティアのステップアップ研修の一環として計画中です。ほかの件も、それぞれ実施に向けて新年度の計画を立てておりますので、どうぞご期待ください。

それぞれの新年について語るみなさん



----- 新規ボランティア研修おつかれさまでした -----

体験の研修

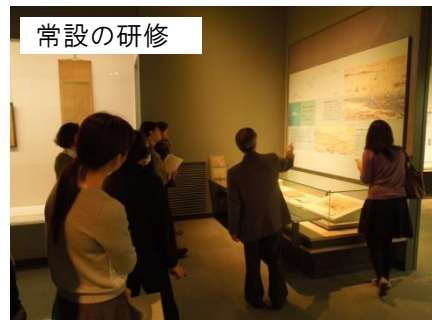


2月から続いていた新規ボランティアの研修もほぼ終わりです。

短期集中で知識を詰め込むことになり、また長時間ガイドを聞くこともあって、体力的にも大変だったと思います。しかし、参加された皆さんは質問したりメモを取りながら、熱心に研修を受けていらっしゃいました。本当にお疲れさまでした。

もちろんこれですぐにガイドができるようになるわけではありません。そう、先輩ボランティアの皆さんもよくおっしゃっています。実際にガイドしてみながら、さまざまな追加知識や話し方のテクニックを身につけていくことになると思います。ガイドスケジュールをチェックして先輩ボランティアさんのガイドを聞き、自主研修されている方も多そうです。ぜひ楽しみながら、気長に活動していただければ幸いです。

常設の研修



【編集後記】

さまざまなイベントを開催しているみなとびあボランティアですが、その活動のメインはやはり日々のガイドやサポート活動です。ボランティアのイベントは、そのための研修旅行であったり、活動をより多くの方にご紹介する機会であるフェスティバルであったりします。新年度も多くのイベントが予定されていますが、少しずつ日々の活動についてもお伝えしていければと思います。次回は体験ボランティアについて取り上げる予定です。(中村)